チア・にっぽんからのアップデートと

本日の総会議題への提案等

 〒189-0013

　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　東京都東村山市栄町1－5－4－103

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　Tel：080-6555-1900

　　　　　　 E-mail：office@cheajapan.com

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　 [http://www.cheajapan.com](http://www.tim.hi-ho.ne.jp/zzzion/)

 チアにっぽん事務局　稲葉寛夫

**【アップデート】**

* 今年は、東京都内のホームスクーラーたちから、いくつかの区の教育委員会から、「就学義務違反となります」といった手紙が届いている（参考資料１）。いずれのケースも、「教育機会確保法」に関するチア・マガジンやパンフレットほか、説明用の教材を用いて解説すると、教育委員会の方々も「勉強不足で、すみませんでした」と対応され、問題は解決。ホームスクーリングは100％自由の中で展開してはいるが、もぐらたたきのように困難は生じている。一層の周知、明確な法文への改善が必要。
* 昨年から、文科省ホームページの「多様な教育」コーナーの見やすさ等の要望を伝えてきた。最近の「不登校・いじめ緊急パッケージ」等、見やすくなってきている。
* ４年ぶりに、チア・コンベンションが東京、大阪で開催され、全国から700名のホームスクーラーたちが参加した（資料２：コンベンションパンフレット参照）。コロナ禍の３年半の間にスタートしたホームスクーラー家族が多く、欧米でのホームスクーラー増加傾向と重なった。

**【本日の議題について】**

1. **「不登校等に関する文部科学省調査の結果について」**

**「いじめ問題」と「不登校」をセットで考える必要性を強く思う。**

　不登校要因が「いじめ」が0.2％、「無気力・不安」が49.7％というのは、現実と大きな乖離がある。チア・にっぽんへの約24年の相談件数でも、「重大ないじめ」を要因とした不登校が圧倒的に多い。報道によれば、文科省も「本人・家庭と学校の把握にずれ」を認識し、「当事者アンケートに踏み切り、的確な対応へ」等とある（産経新聞2023/10/4 等）。当然、浮かび上がるであろう「いじめ問題」と「不登校」をセットで考える必要性を強く思う。

（参照　朝日新聞いじめ重大事態早期対応なお課題　2023年11月５日）

**2．不登校・いじめ緊急対策パッケージについて**

**いじめ問題（不登校問題の本丸）に切り込む必要性**

●参考　前島　康夫氏　元東京電機大教授

　「登校拒否・ひきこもりからの‘出発’」「いじめ-その本質と克服の道すじ-」ほか）

☆「いじめの定義がわかっていない！いまだに、喧嘩両成敗！」いじめ防止対策推進法２条、浸透せず！　傍観者、見て見ぬふりの共犯

（参考「弁護士グループ「授業」続け10年」朝日新聞2023年10月22日）

「いじめ」とは、「当該 行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの」

（いじめ防止対策推進法２条）

**「いじめは犯罪である」ことの周知の必要性**

〇　これまでの周知の不十分さ・巧妙で陰湿ないじめの増加

事例「いじめセミナー」の翌日の「いじめ」発生の事例。

〇　今後、必要なこと：いじめ（加害者・傍観者）は犯罪であること、処罰の周知

強要罪・侮辱罪・名誉棄損罪・暴行罪・傷害罪ほか、傍観者の共同正犯、ほう助罪、

一部行為全部責任等、明確に伝える必要性

〇　壊れた子どもたちの心の傷、人生への影響の深さ

不登校・アパシー・自殺ほか　by 同世代・教師・監督/コーチからの陰湿ないじめ

1. **東近江市長発言に対する議連の対応について**

**「多様な教育」「ホームスクーリング」等の用語の追加**

今回、当該市長の発言にあった「フリースクール」（約4000名）に引っ張られず、「自宅での学習者・ホームスクーラー」（約29万4000名）が共に闘っているため、「多様な教育を創る議連」として、「フリースクール」「多様な教育」「ホームスクーリング」といった先取りした用語を、意識的に用いていただければ感謝です（参考：8月に発表された「不登校特例校を学びの多様化学校等への通称変更」）。